

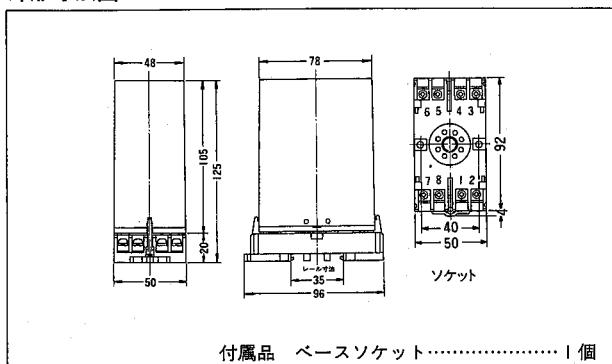
取扱説明書

WAP-PH
WAP-PL
WVP-PH
WVP-PL

ピークホルダ (PEAK HOLDER)

watanabe製品を御愛顧いただきありがとうございます。御希望通りの仕様であるかお確かめの上、この説明書にそって御活用下さい。本品は、厳重な品質管理基準にもとづいて製造・検査されておりますので、御満足いただけるものと信じております。万一、輸送上の破損等で不都合がございましたならば、なるべく早く弊社またはお買い上げいただいた販売店まで御連絡下さいますようお願い申し上げます。

外形寸法図

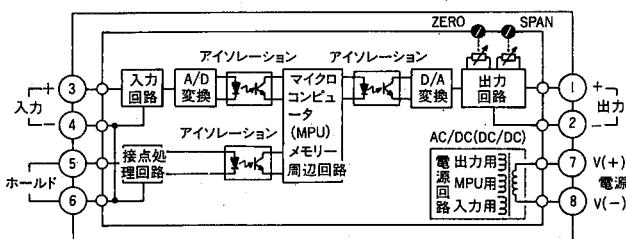


1. 概要

W□P-PHは、アナログ信号の最大値を自動的に検出して保持する変換器です。

また、W□P-PLは、アナログ信号の最小値を自動的に検出して保持する変換器です。

2. 回路構成



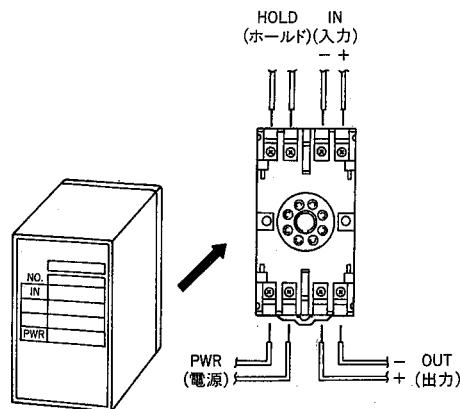
基本的には入力部、演算処理部、出力部から構成され、それらは相互にフォトカプラーによってアイソレートされています。

入力部は低ドリフト入力アンプ、ゼロシフト回路と入力信号に比例したパルス幅変調によるA/D変換回路およびHOLD指令信号を処理する回路とからなります。

演算・処理部は8ビットの1チップマイクロコンピュータ(MPU)を中心に構成され、そこではA/D変換されたパルス幅変調波形のデューティ計算、ピークまたはボトム値検出演算・制御、D/A変換回路に引き渡すパルス幅出力データの算出などを行ないます。

出力部はパルス幅復調方式のD/A変換回路によりMPUからの出力信号をアナログ信号に変換し、出力回路で希望の電圧または電流信号として出力します。

3. 接続方法



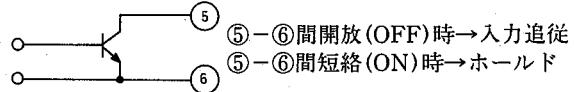
端子番号	記号	内 容
1	OUTPUT	+ 入出力仕様に基づいた信号が出力されます。
2		-
3	INPUT	+ 規定の入力信号を接続して下さい。
4		-
5	HOLD	ホールド指令信号を接続して下さい。(下図参照)
6		
7	POWER	U(+) 定格電圧の電源を接続して下さい。
8		V(-)

ホールド指令信号の構成

- ①リレー、その他の接点の場合



- ②トランジスタの場合

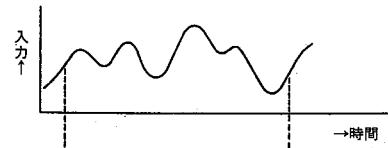


4. ホールド動作説明

ホールド指令用の端子(⑤-⑥)間を短絡すると、ピークホルダでは、その後の最大値を検出し保持します。また、ボトムホルダでは、その後の最小値を検出し保持します。

なお、この端子間を開放にしておきますと、入力信号に追従し、通常の変換器と同様に動作します。

入力信号

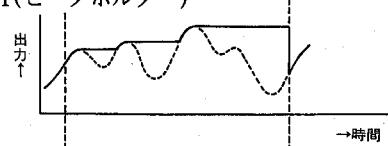


ホールド指令信号

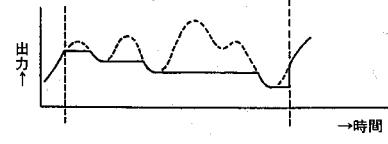


出力信号

- ①W□P-PH(ピークホルダー)



- ②W□P-PL(ボトムホルダー)



5. ゼロおよびスパンの調整方法

本器は出荷時に調整・校正済みですから、経時変化による微調整または定期的な校正が必要となった場合以外には不用意に、ゼロ(ZERO)およびスパン(SPAN)の各トリマを回さないように特に注意して下さい。

調整の必要が生じた場合には以下の要領で行なって下さい。この場合、標準電圧・電流発生器などの十分な精度の信号源を使用し、電源投入後30分位経てから行なって下さい。

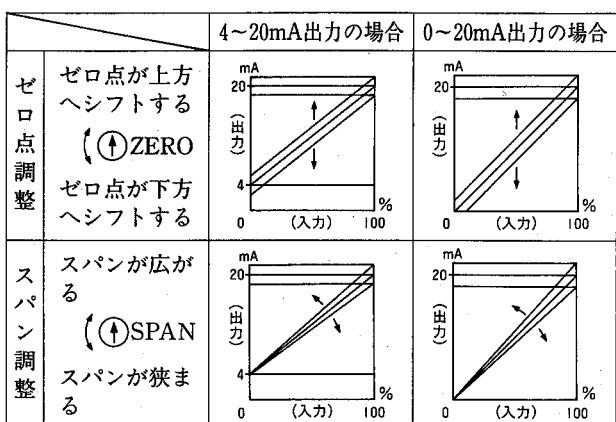
各トリマの調整範囲は、ゼロ・スパンともフルスパンの±10%程度です。

●ゼロ調整

入力端子に、ラベルに記入されている入力範囲の下限の信号を加え、このときの出力信号が出力範囲の下限値となるように合せます。

●スパン調整

入力端子に入力範囲の上限の信号を加え、このときの出力信号が出力範囲の上限値となるように合せます。

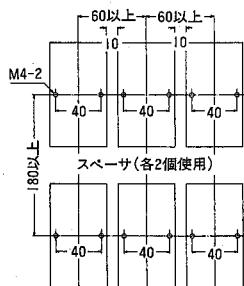


6. 取付方法

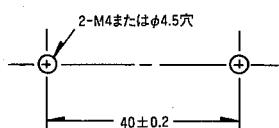
●集合取付要領

周囲温度の上昇を防ぐため、右図のように間隔を空けて取り付けて下さい。

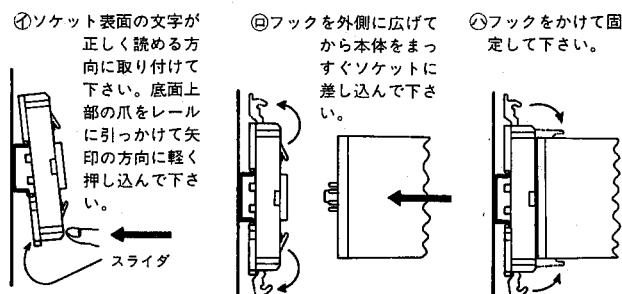
DINレールに取り付ける場合は、各々の間に付属のスペーサを2個入れますと10mmの間隔を空けることができます。



●据置取付の穴加工寸法図

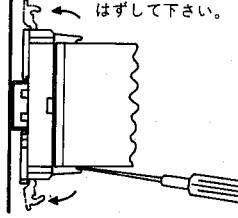


●DINレールへの取付方法

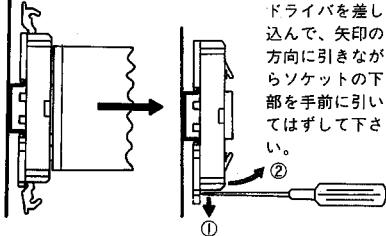


●取りはずし方法

①本体の取りはずし方
両側のフックをはずして下さい。



②ソケットをはずすには
スライダの溝に
ドライバを差し
込んで、矢印の
方向に引きなが
らソケットの下
部を手前に引い
てはずして下さ
い。



7. 御注意事項

(1)設置について

●塵埃・金属粉などの多い所に設置する場合は、筐体を防塵設計とし、放熱対策を施して下さい。

●振動、衝撃は故障の原因となりますので極力抑えるようにして下さい。

(2)配線について

●電源ライン、入力信号ライン、出力信号ラインの配線は、ノイズ発生源、リレー駆動ライン、高周波ラインの近くに配線しないで下さい。

●ノイズが重畠しているラインと共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●本器は電源投入と同時に計測可能になりますが、全ての性能を満足するには30分間の通電を要します。

保証について

本品の保証期間は、納入後1年間です。この期間内に通常の使用条件下で故障が発生した場合は、なるべく早く弊社または御買い上げいただいた販売店へ御連絡下さい。弊社に引き取って無償にて修理を行なうか、新品と交換させていただきます。

なお、分解・改造及び通常でない状態での御使用に対する責任は御容赦いただきます。